

図 5-7 湿原に流入する河川の改修年とその位置

3) 下幌呂地区周辺地下水位について

釧路湿原の幌呂川・雪裡川方面の地下水位分布状況については、図5-8に示すように、いくつかの特徴がある。

- ・下幌呂地区周辺の湿原内部数カ所では、地下水位観測が実施されており、経年的な地下水位が把握されている。観測結果より、当該地区の地下水位は、地表面とほぼ一致しており、水位の変動が小さいことが特徴として挙げられる。
- ・地下水の流向は北西から南東であり、その水面勾配は地形勾配と同様、2000分の1程度である。また、水位は年間を通してほぼ一定であり、融雪期および洪水時に若干の水位上昇がみられる程度である。さらに、降雨による水位の変動もごく小さい。
- ・これらより、当該地区は周辺からの地下水の供給が豊富であり、当地区を流下する河川も地下水を主としているため、年間を通して水位が安定しているものと推定される。
- ・ただし、ショートカットされた河川周辺や農地周辺の排水路が整備された地区周辺では排水機能の向上により、乾燥化や水位の変動が大きくなるなど、水環境が変化していることが考えられる。

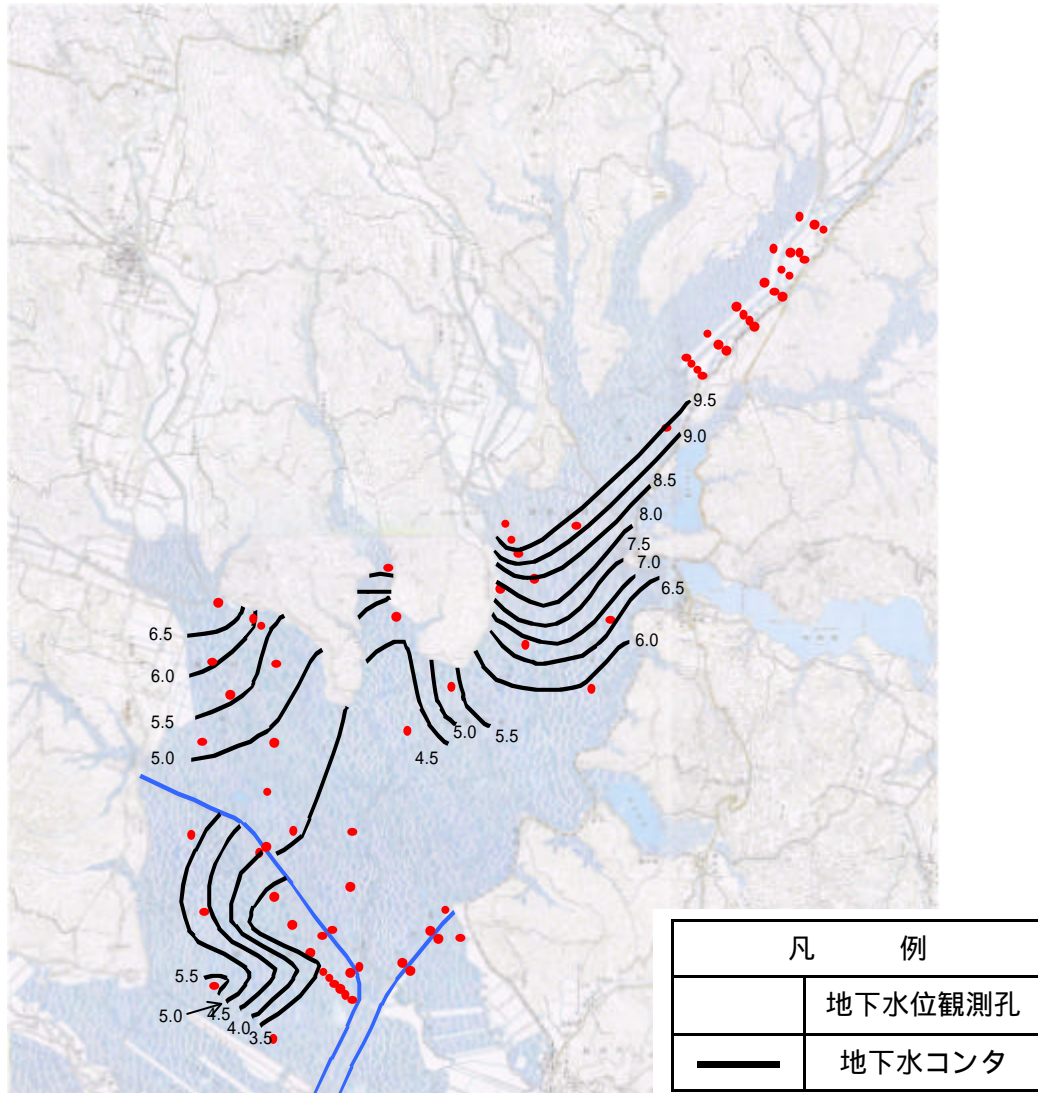


図 5-8 地下水位標高コンタ図(H13.10.1)